

(別紙4(2))

事業所名: グループホームなかよし

目標達成計画

作成日: 令和 4年 4月 6日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	身体拘束をしないケアの実践に関して身体拘束適正化委員会の設置や開催について委員会の詳細が不十分である。	身体拘束適正化委員会の整備を早急にする。	身体拘束適正化委員会の設置についてマニュアルの修正を行う。	6ヶ月
2			委員会の開催に運営推進会議を活用し、参加者や具体的な内容も記載し、周知徹底を行う。	内部研修と通して、職員が身体拘束の内容や弊害を理解するよう努める。	ヶ月
3	13	災害対策について	非常持ち出しの書類の把握と確認を行い、災害時勤務時間帯に応じた役割を把握する。	保管場所を定めて全職員にわかるようにする。全職員への周知・確認を行う。	12ヶ月
4			地震と災害に備えた避難方法を全職員で共有できるようにして行く。	地震時と災害対応のマニュアルを会議等を利用して、全職員間で共有できるようにする。	ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。